

特定非営利活動法人NPOサポートちがさき

令和2年度(2020年度) 事業報告

(令和2年4月1日より令和3年3月31日まで)

1. 市民活動を支援する施設の管理運営事業

内 容 施設管理及び市民活動推進のための事業、多様な主体による協働の仲介を行った。
日 時 令和2年4月1日より令和3年3月31日・通年
場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従事者人員 20名
受益対象者 公益活動団体及び関心のある個人
支 出 額 25,699,330円

2. コミュニティ形成を支援する事業

(1) まちスポ×さぼちが連携事業

実施しなかった。

(2) おでかけ支援事業

内 容 神奈川県共生社会仕組みづくり外出支援モデル事業の2年目として実施した。
湘南地区まちぢから協議会に対して、まちづくりスポット茅ヶ崎と連携して下記の支援を行った。
・国土交通省認定認定ドライバー研修の企画・運営、添乗者及び運行管理者等の担い手研修の企画運営、運転マニュアルの作成、社会福祉法人翔の会の車両の借用を仲介。
日 時 令和2年4月1日より令和3年3月31日・通年
場 所 まちづくりスポット茅ヶ崎、コミュニティセンター湘南、茅ヶ崎市南西部エリア他
従事者人員 2名
受益対象者 茅ヶ崎市南西部地区住民及び一般市民
支 出 額 125,606円

(3) コミュニティ・コンシェルジュ

実施しなかった。

(4) 余暇支援ネットワーク

中止となった。

3. 協働によるまちづくり推進事業

(1) 企業とNPOのマッチング

実施しなかった。

(2) 食から未来へ勉強会

内 容 [地域の野菜・果樹の力を知ろう] 地域農産品について基礎から勉強することを通じて新しいネットワーク及び人材の発掘を行った。

日 時 令和2年4月～令和3年3月

(8月23日くらしの教室はじめての漢方、11月8(日)食を楽しみ、秋を楽しむ芋煮会)

場 所 RIVENDEL

従事者人員 4名

受益対象者 リベンデルの会員ほか市民

支 出 額 3,000 円

(3) 地域コミュニティ勉強会

内 容 伊藤隆さんを囲み、コーディネーターに中川久美子さんをお迎えして、中間支援のあり方と新型コロナウイルスがあぶりだしたことや対応について考える。

日 時 7月4日(日)

場 所 茅ヶ崎地区コミュニティセンター大会議室

従事者人員 4名

受益対象者 会員及び市民活動に関心のある市民

支 出 額 100,110 円

(4) 農福商等連携・ネットワーク事業

実施しなかった。

4. 市民活動に関する調査研究事業

実施しなかった。

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

実施しなかった。

1. 茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営とこれに付随する事業

総括

2017 年度から 4 年間の指定管理期間の最終年度、新型コロナウイルスの感染拡大により、施設の管理運営や主催事業の企画、市民活動全体が様々な影響を受け、発想の転換が求められ、新たな支援のあり方について模索する一年だった。

茅ヶ崎市「新型コロナウイルス市内感染のまん延防止に係る取り組み方針」に従い、4 月 4 日から 6 月末日までは臨時休館、7 月 1 日から再開したものの、8 月末までは主催イベントの原則中止または延期、その後も、国の緊急事態宣言発令に伴う利用時間の短縮など、その都度利用者への説明、対応に追われることとなった。

また、感染防止対策のため新たにマニュアルを策定し、館内の換気や消毒を徹底、座席を半数に減らし事前予約制をとるなど、新たな利用ルールを導入し、利用者への啓発に努めた。これまでの「予約なしに気軽に使える、飲食も可」というサポセン利用のあり方を見直しせざるを得ず、リアルな交流が生まれにくい状況となった。

年間利用者は、8,585 名で前年度比 41%、印刷機利用は前年度比 33%と大きく落ち込んだ。ホームページ年間閲覧数は 60,586 件(Google 統計、1カ月間の訪問者総数計)で前年比 85%だった。

対面での交流促進事業を実施するのが難しい状況下で、市民活動推進のための講座やイベントは、Zoom などオンライン会議ツールが急速に普及したことから、スタッフ全員で学習を重ね、可能な限りオンラインでの実施を試みた。特に、前年度新型コロナの影響で中止となってしまった「こどたん(こどもたいけん☆ワイワイまつり)」に関しては、ゼロからのスタートで初めてのオンライン開催に挑戦し、サポセン YouTube チャンネルの開設や Zoom 生配信という新たな取り組みによりオンラインコミュニケーションの可能性を広げることができた。

オンライン活用については、利用者ニーズに応じて館内のネット環境を整備し、NPO 法人パソコンボランティア湘南の協力を得て IT 講座や「市民活動の IT 支援/PC サポート」事業を新規展開した。ウィズコロナの時代、加速するデジタル化に対応すべく ICT の積極的な利活用は必要不可欠であるが、一方で、常に利用者の声を聞きながら、デジタルデバйд解消のために必要な支援策を講じ、これからも、誰にとっても利用しやすい、誰もが参加できる、市民活動の拠点施設となるよう努めていきたい。

1) 施設の運営に関する業務

(1)ロッカーの使用の承認、取消し等に関する業務、利用料金の徴収、還付に関する業務

事務所を持たない NPO に対して、機材などの備品や書類保管のためにロッカーを貸出。

58 団体(大:17 団体、小:41 団体)稼働率 85%

(2)作業コーナーの管理運営に関する業務

- ・パソコン 5 台、レーザープリンター、コピー機、印刷機 2 台、紙折り機、丁合機等、機器類のメンテナンス、消耗品の管理を実施した。貸出パソコンについては IT スタッフによる定期メンテナンスを行った。
- ・機器類の使い方指導やトラブル対応など、利用者へのサポートを行なった。
- ・事前予約制による利用人数の制限や、機器類の消毒をこまめに行い、安心して利用していただけるよう努めた。

(3)ロッカー、レターケース利用団体宛のファックス及び郵便物の取り次ぎに関する業務

市民活動団体への郵便物・物資・情報等の仲介をした。108 件。

(4)職員体制に関する業務

・グループウェア「サイボウズ Office」「メールワイズ」、事務所内での文書回覧、LINE に加え、新たにオンライン会議ツール Zoom を活用し、日常業務の報告や連絡・伝達を行い、臨時休館中も様々な手段でスタッフ間の

情報共有を図ることができた。

- ・毎月スタッフ会議と第3水曜日(休館日)スタッフ勉強会を実施し、市からの報告事項や主催事業の進捗状況の確認、企画の検討、施設運営の課題等について話し合いを行った。勉強会では、公共施設の運営の在り方、組織運営について、情報セキュリティ、IT スキルアップ、効果的な広報について他、今年度の主催事業・イベント実施に向けて企画検討や業務の詳細打合せを行った。また危機管理対応として、防災訓練、風水害や新型コロナウイルス感染症の対策検討を行った。
- ・新人職員に対してはOJTを中心とした研修、その他すべての職員に対し、主催事業(NPO 講座など)や外部研修への積極的な参加を推奨し、スキルアップを図った。(※はオンライン開催)

開催日	概要	参加人数
9月4日(金)・16(水)	NPO 支援センター初任者研修会*	1名
9月25日(金)・10月1日(木)	NPOと行政の対話を促進するための連続講座*	2名
10月11日(金)・11月29日(日)	オンラインファシリテーション研修講座*	3名
10月13日(火)	ボランティア活動支援施設スタッフセミナー「NPO基礎知識」*	3名
10月27日(火)	ボランティア活動支援施設スタッフセミナー「情報誌づくりのコツ」*	2名
12月7日(月)	2020 年度ボランティア活動成長支援事業中間報告会「組織評価を学び、NPO支援へとつなげる」セミナー*	1名
12月14日(月)	イーパーツ活動報告会 2020「非営利活動のデジタル化を考える」*	1名
1月26日(火)	「多様な主体とボランティアの協働～ボランティアコーディネーターの新たな役割・可能性をめざして～」@横浜	1名

(5) その他

「サンチャイ ねばるば」によるサポセン内常設スタンドでのコーヒー販売、4R(Reuse Reduce Recycle Repair)で地球環境保全維持を目指して活動している小関氏による「パソコン等なんでも相談」は休止した。

2) 広報に関する業務

(1) 施設の周知啓発に関する業務

ア. ホームページ・SNS の作成及び管理運営

- ・サポセンHPの保守管理および運用サポート&コンサルタントを行う(株)ボンドとは、月1回ミーティングを実施。サポセンスタッフでは担えないコンテンツ追加やレイアウト変更など、専門性のある部分でサポートを受けるなど、連携を取りながら情報発信サイトの維持・管理を行った。
- ・HP、SNSを利用した施設の利用に関するお知らせ、各種イベント・助成金等の情報提供や、主催事業の開催告知・報告、行政のお知らせなど、通常コンテンツ記事の更新作業は臨時休館中も休まず情報を受け取り次第随時行った。2021年3月末までに、**団体イベント 325 件、助成金等 55 件、主催事業告知・報告 31 件**の情報を提供。新型コロナの影響で活動を自粛する団体が多く、さらに緊急事態宣言により団体主催イベントなど中止が相次ぎ、速やかにイベント情報の修正作業を行った。
- ・Twitter では、主に若者が興味を持ちそうなボランティア情報を提供。また、Facebook ではサポセンの最新情報のほか団体に役立つ情報提供や団体がそれぞれにアップした活動情報をシェアするなど、市民活動の広報に注力した。2021年4月20日現在 **Twitter フォロワー数 348、Facebook フォロワー数 996**と昨年度比 Twitter 107%、Facebook 106%と増加。「ちがさき市民応援団」Facebook グループは、**登録メンバーが 116 名**と昨年度比 252%と増加、各自イベント情報などを発信し交流を深めている。

イ. サポートセンター情報紙の発行

「ニューズレター」を年 5 回(各号 1,600 部)発行。

市内公共施設ならびに館内配架の他、市民活動団体データベース登録団体・近隣自治体のボランティア支援施設・市内協力団体・個人・企業へ配布、ホームページに掲載。サポセンの取組みを紹介する資料として活用した。

巻	発行月	内容
vol.71	7 月	新たな利用ルール告知、サポセンここが便利(機能編)、コラム(つながりの再認識)、2020 年度イベント・プログラムスケジュール、「新型コロナウイルス」の影響と今後の市民活動に関するアンケート集計結果、令和 2 年度実施市民活動げんき基金補助事業 14 事業決定、「茅ヶ崎居場所づくりネットワーク」がスタート、お知らせ(ちがさき市民活動団体ガイドブック 2020 発行、令和元年度「茅ヶ崎市エコ管理賞」受賞、「市民活動等災害補償制度(市民活動保険)」、広報ちがさき「市民の活動だより」掲載休止、レディオ湘南放送中止)
vol.72	9 月	10・11 月主催イベント告知、特集(オンライン活動について)、お知らせ(ちがさき市民活動団体ガイドブック 2020 発行、サポセン「Twitter」紹介、看板がリニューアル、広報ちがさき「市民の活動だより」掲載再開)
vol.73	11 月	11・12・1 月主催イベント告知、事業報告(NPO 講座「ZOOM 入門はじめの一步」「オンライン決済」)、お知らせ(「ふれじょぶちがさき・さむかわ」活動受入、「たのくんからの贈り物」など)
vol.74	1 月	1・2・3 月主催イベント告知、事業報告(団体のIT支援、明治のお菓子寄贈プログラム、高校生ボランティアの取組み)、お知らせ(冬場の館内換気、げんき基金へ寄付、開館時間変更など)
vol.75	3 月	感染予防対策協力のお願ひ、「市民活動団体データベース」登録募集、事業報告(こどたん 2021、NPO 講座「公民協働のまちづくり」～ウィズコロナ時代の SDGs 講座推進に向けて～「スマホで簡単! 動画制作(中級編)」、地域の居場所づくり交流会 V @茅ヶ崎)、お知らせ(ボランティア塾 in 鶴嶺高校 2020、市民活動の「PC サポート」利用報告など)

ウ. サポセン・市民活動の PR

ホームページや館内、広報掲示板を中心に、サポセンの新たな利用ルールについて、さぼちゃんのイラストを用いてわかりやすくPRした。「春の市民まつり」等イベントが中止となり、対面による PR 機会を持つことができなかった。

(2) 市民活動団体の広報支援に関する業務

ア. 市民活動団体データベースの作成及び管理、それを基としたガイドブックの編集及び発行

ホームページへの情報掲載

- ・市との定期連絡会にて、毎月施設利用統計に登録団体数・新規登録数・登録取消数・ガイドブック(WEB)掲載団体数を報告。本年度は、**新規登録 8 団体、取消 32 団体**、設備利用団体を含む**全登録数は 349 団体**となった。
(データベース登録数は、ガイドブック掲載団体の他に、施設設備(ロッカー・レターケース)の利用団体も含む)
- ・臨時休館の影響で通常 4 月に送付していたデータベース更新案内を、5 月下旬に登録団体へ向け送付、団体情報の更新作業を行った。
- ・更新案内送付時にコロナ禍における団体の困りごとや、団体情報発信や会員間の情報共有について、またオンライン活用に関してのアンケートを実施。集計結果は、団体支援の検討材料とし、NPO 講座等企画の参考とした。
- ・比較的年齢の高い会員で構成されている団体においては、緊急事態宣言後も活動再開の見通しが立たず解散する団体が出てきた。他には、しばらく活動を自粛するためガイドブック公開を見合わせる団体も複数あった。

- ・ガイドブック冊子版を発行。市民の多くが気軽に WEB 閲覧できる環境を持つようになったことを受け、本年度をもって冊子版の発行・配布を停止。次年度以降は、「市民活動団体ガイドブック」WEB版を随時更新提供していく。
- ・年間を通じて、市民活動団体データベースの新規登録・情報変更を随時受付、サポセンHPのガイドブックWEB版に適時情報を反映することで、最新の団体情報を市民へ提供できた。

イ. 広報ちがさき「市民の活動だより」への掲載仲介

広報ちがさき 1 日号「市民の活動だより」へデータベース登録団体より通算 4 団体を掲載。

(広報ちがさきは、15 日号を休止し、1 日号のみの発行となった。市民活動団体主催のイベント開催等が自粛となり掲載を見合わせたが、12 月より市の担当課と調整しつつ掲載を再開した)

ウ. FM 広報番組「はまかせ ちがさき」への情報提供

ラジオ湘南「はまかせちがさき」内で、市民活動団体のイベントを 1 件紹介。(多くのイベント開催が自粛となり仲介を見合わせた)。2021 年(令和 3 年)2 月には「こどたん」の紹介を行うことができた。

エ. 情報(掲示物)コーナーにおける市民活動団体の掲示物の受付・掲示・管理、団体への情報提供

- ・データベース登録団体の会報やイベント開催チラシをメインに、市民活動に関するイベントや運営に役立つ講座案内、各種ボランティア講座・募集情報、資金面での支援につながる助成金情報などを整理して見やすく掲示。
- ・団体情報の収集・提供では、分野ごとの団体メモリーファイルに登録団体のメディア掲載や会報・チラシなどを整理保管し、団体の活動履歴などが把握できるよう努めた。
- ・広報ちがさきはじめ市主催のイベント、市民公募、パブリックコメント他刊行物、公共施設や他地区支援センターの広報紙やイベントチラシ等も、来館者が手に取りやすいように平机と掲示用ラックを活用して掲示・配架を行った。
- ・神奈川新聞やタウンニュース等の地域紙に掲載された、市民活動や市に関する記事を曜日ごとにスクラップして、来館者に見やすく掲示した。(市民活動団体の年間メディア掲載件数:59 件)
- ・開催日程が間近なイベントやコロナ関連情報など、注目してほしい情報へのアクセスを、来館者視点で検討・工夫して情報の掲示を行った。

< 館内掲示物の内訳 >

イベント・講座	広報紙 機関紙	会員・ボラン ティア募集	補助金・ 助成金	地域紙	その他	合計
325 件	409 件	31 件	55 件	231 件	141 件	1,192 件 (前年比 56%)

- ・奇数月の中旬から下旬には、サポセン・ニューズレターや講座案内など、登録団体および公共施設、関連機関などへ郵送・持参し、さらに登録団体にはメールを用いてサポセン事業等の情報提供を積極的に行った。

3) 市民活動の支援及び市民活動推進に関する業務

(1) 市民活動に関する相談並びに連絡調整に関する業務

相談等は随時対応。毎月 1 回(第 2 月曜日)、法人代表理事による特別相談日を設けて対応した。

- ・臨時休館中は、施設の利用に関する問合せが多く寄せられた。例年 4・5 月は総会を開催する団体が多く、資料等の印刷に関しては、近隣の支援センター、ネット印刷や比較的低料金のコピーできるお店などを紹介した。
- ・新型コロナの影響で活動場所を探している、感染症対策の衛生用品が不足しているなどの困りごとに対しては、情報や物資(NPO や企業からの寄贈品)の仲介を行った。また居場所の食事提供用に食材の仲介も行った。
- ・コロナ禍で活動を制限される中であっても、子どもや高齢者、障碍(がい)者、生きづらさを抱える人、病気や孤立、生活困窮など困難な立場にある人たち支援する団体、地域や事業者、専門家、個人ボランティアに加え、自ら

課題解決に果敢に取り組む当事者たちの切実な思い、力強さに心を動かされる場面が多かった。

- ・団体の運営に関する相談では、市の施策や制度に結び付けられるように行政担当課や関係機関の紹介、民間助成金申請にあたっての推薦コメントなど、次につながる対応を行った。
- ・げんき基金補助事業については、市民自治推進課と密に情報共有しながら、事業の進め方や申請用企画書の書き方などにアドバイスをを行い、必要に応じて他団体を紹介して連携協力につなげた。
- ・市民活動団体からは、IT 支援や Zoom 会議に関すること(使い方を教えてほしい、場所を使いたい)、クラウドファンディングやオンラインイベントについて広報の協力依頼、新規立ち上げ相談など。その他物品の寄付、保護猫、パソコン利用などの問合せも目立った。

<相談・問合せの内容>

カテゴリ	利用者の声	問合せ	相談	計
ア.施設・備品の利用	21 件	104 件	1 件	126 件
イ. サポセン主催事業	15 件	27 件	3 件	45 件
ウ. 市の施策(協働推進事業・げんき基金)	4 件	5 件	12 件	21 件
エ. ボランティア・市民活動	1 件	27 件	3 件	31 件
オ. 団体の運営(法人設立・組織運営)	0 件	2 件	3 件	5 件
カ. 団体の運営(活動資金・助成金)	2 件	1 件	10 件	13 件
キ. 団体の運営(活動場所)	0 件	4 件	2 件	6 件
ク. 団体の運営(ボランティア募集・人材確保)	1 件	1 件	0 件	2 件
ケ. 団体の運営(広報)	3 件	7 件	4 件	14 件
コ. 団体の運営(活動内容・事業企画)	8 件	1 件	8 件	17 件
サ. 団体の運営(会計・税務・労務・)	1 件	1 件	1 件	3 件
シ. 団体の運営(その他)	3 件	3 件	5 件	11 件
ス. 地域資源・情報のコーディネート	5 件	5 件	9 件	19 件
セ. 行政・企業・大学・他団体等との連携・協働	1 件	0 件	3 件	4 件
ソ. その他	27 件	47 件	13 件	87 件
合計	92 件	235 件	77 件	404 件

<相談者の内訳>

所属区分	利用者の声	問合せ	相談	計
市民活動団体	45 件	79 件	24 件	148 件
特定非営利活動法人(NPO 法人)	8 件	15 件	7 件	30 件
公益法人・非営利法人	2 件	6 件	9 件	17 件
行政	0 件	8 件	4 件	12 件
企業	6 件	7 件	2 件	15 件
学校	0 件	4 件	1 件	5 件
地縁団体(自治会など)	4 件	6 件	2 件	12 件
福祉関連機関	6 件	2 件	8 件	16 件
その他	4 件	8 件	3 件	15 件
個人	17 件	100 件	17 件	134 件

(2) 市民活動推進のための事業の実施に関する業務

ア. 市民活動推進及び市民活動団体育成のための講演会、講座等の実施(年4回以上)

(ア) NPO 講座の実施

市民活動団体のニーズが高い Zoom 入門講座(連続2回)とオンライン決済講座、スマホ動画の制作方法講座(連続2回)、協働のまちづくりに向けた SDGs 活用講座の計6回の講座を開催した。

開催日	概要	参加人数
10月13日(火) 10月14日(水)	Zoom 入門～はじめの一步 コロナ禍で団体活動を再開し活性化するために、市民活動団体や地縁団体の会議・打合せ、市民を対象とした講座・イベントを行う際に、3密回避に役立つオンラインツールを上手く利用して実施する術について解説。 講師:大木 伊都子氏(特定非営利活動法人パソコンボランティア湘南 代表)	各日 12名
11月6日(金)	市民活動のためのオンライン決済 いまや主な活動をオンラインにシフトしている市民活動団体や、地縁団体が徐々に増加しつつある。団体の会費徴収や、市民を対象とした講座・イベント等の参加費の受取りなど、便利な電子マネーを上手く利用する術について解説。 講師:横溝 芳明氏(特定非営利活動法人パソコンボランティア湘南 会員)	8名
1月28日(木) 2月4日(木)	「スマホで簡単!動画制作」～魅力的な動画PRで団体活動を広げよう 今や団体活動の広報ツールとして欠かせないものになった SNS。SNS 発信において、動画を活用して団体の活動をさらに魅力的に伝えるために、身近なスマホで動画を撮影・編集し、YouTube にアップロードする方法について解説。 講師:市川 ヤスヒロ氏(株式会社バンド 代表取締役/デザイナー)	各日 10名
1月31日(日)	公民協働のまちづくり～ウィズコロナ時代の SDGs 推進に向けて～ オンラインで開催。講師から「SDGs に関する実務的な知識」と「協働の考え方・実践事例」について学んだ後、グループワークを通じて、様々な地域課題の解決に向けて「公民協働」を進めるための実践的な知恵を探り、参加者全体で共有した。 講師:新海 洋子氏(一般社団法人 SDGs コミュニティ代表理事)	17名

(イ) 市民活動の IT 支援/PC サポート【新規事業】

オンラインでの情報発信や団体内の情報共有に必要なパソコンスキルやアプリの使い方についての困りごと相談コーナーを月2回フリースペースにて提供した。(協力:NPO 法人パソコンボランティア湘南)

相談内容は、WordやExcelなど基本アプリの使い方、メールの送受信、Zoomの使い方、写真編集、動画編集、データのバックアップの取り方など。市民活動団体、地縁団体、個人のシニアなどのべ49名の利用があった。

実施日:11/16、11/30、12/14、12/21、1/18、1/25、2/8、2/22、3/8、3/22

イ. 市民活動団体の交流のためのイベントの実施(年1回以上)

(ア) 地域の居場所づくり交流会の実施

地域の居場所づくりに関心のある市民、居場所づくりを支援する立場にある自治体職員・福祉関係者等を対象に、市内外の様々なタイプの居場所の事例を紹介しながら、居場所運営の現状とノウハウ(課題含む)を学ぶ機会を提供した。「茅ヶ崎居場所づくりネットワーク」と情報交換をしながら企画した。

開催日	概要	参加人数
2月27日(土)	地域の居場所づくり交流会Ⅴ (オンライン(Zoom)による開催) ・講演 ・市内3つの居場所事例の発表 ・グループワーク(ブレイクアウトルーム) ・全体会(グループから主な話題の報告) ○講師・事例発表者 講師:奥山千鶴子氏(認定NPO法人びーのびーの理事長) 事例発表者: ・永田恵子氏(みんなの居場所「びすた〜り」) ・山根擁子氏(BOOK PORT CAFE) ・平國祥子氏(地域包括支援センターさざなみ)	25名

(イ)「こどたん(こどもたいけん☆ワイワイまつり)」の実施

前年度は「こどたん 2020」を開催直前で中止。コロナ禍で活動の自粛を続ける団体も多い中で、本年度はどのようにイベントを開催するのか検討を重ねた結果、府中市で行われた「市民協働まつりオンライン開催」を参考に、サポセンホームページとZoomアプリを利用して、会えなくてもつながれるオンラインでの開催を決定した。

こどたんイベントの公開期間は2月13日(土)～3月14日(日)とし、広報ちがさきへの掲載依頼、市内小学校の全校配布依頼、各メディア(地域紙・WEB)への掲載依頼などで、こどたんオンライン開催の広報を展開した。

こどたん特設ページを立ち上げるにあたり、WEB設計・デザイン等専門性が必要な部分に関しては、ホームページの保守管理を担っている(株)ボンドに制作を依頼。また、イベント目的に沿ったコンテンツとして「動画配信」「クイズ」「Zoomイベント生配信」「投稿動画募集」「参加団体紹介」を企画し、それぞれ参加団体の募集を行った。

「動画配信」には計**66本のYouTube動画**が集まった。佐藤茅ヶ崎市長と水島市会議長からのメッセージをはじめ行政から、子どもや家族向けに制作した動画が数多くご提供いただいた。市民活動団体などからもこどたん用に新たに制作した動画や、既にある動画素材の提供を多数いただいた。また、これまでこどたんイベントに参加していない団体やオンラインが苦手な団体へも、楽しみながら団体の活動を知ってもらおうクイズや茅ヶ崎市の歴史などを学べるクイズの問題作成での参加を促し、**全126問の「チャレンジクイズ」**が出来上がった。

公開期間最後の2日間で、スペシャルイベント「Zoom生配信」10プログラムを実施。サポセンまたは主催団体がホストとなり、視聴者とライブでのやり取りを楽しむプログラムでは、スクラッチプログラミングやフラダンス、テレパシーお絵描き、ベーグルづくり、保健所健康増進課と食生活改善推進団体による調理・食育配信、子どもの自主性を育てるわくわく！チャレンジワークショップ、浜辺のうたサンバを福島と茅ヶ崎で一緒に演奏し踊るなど、サポセンでも初めての試みにチャレンジした。また、東日本大震災発災から10年となり、福島と茅ヶ崎をつないだ「福島かたりべ・おはなし会」や「防災サバイバルチャレンジ」を開催した。特にZoom生配信では、進行役に文教大学生3名、団体1名のイベントボランティアの協力があり、そのおかげでオンラインイベントを無事やり遂げることが出来た。

なお、特設ページ公開期間終了後は、ホームページ上にアーカイブとしていつでも閲覧可能になっている。

開催日	概要	参加者数
12月4日(金) 5日(土)	募集要項&参加申込書配布開始 (申込〆切1/15(金)) キックオフ交流会 12/4(金)18:00～20:00、12/5(日)10:00～12:00 開催 (交流会に参加できなかった団体には個別に対応)	8団体

2月28日(日) ～3月9日(火)	Zoom企画 リハーサル	のべ59名 (スタッフ含む)
2月13日(土) ～3月14日(日)	こどたん 2021 特設ページ 公開 ページ訪問者数 1,900 件、ページレビュー数 2,750 件	参加・協力 46 団体 (初参加 19 団体)

ウ. 市民活動ネットワーク会議に関する業務

(ア) 市民活動ネットワーク会議への出席

今年度は中止やオンライン開催、書面開催となった会議も多かった。近隣支援センターや関連機関との情報交換などから日常的な支援に役立てることができた。

開催日	概要	参加人数
5月16日(土)	平塚市協働事業審査会 平成31年度実施事業報告会(書面)	1名
6月13日(土)	平塚市協働事業審査会 令和3年度実施事業第一次審査会	1名
7月14日(火)	平塚市市民活動推進委員会(令和2年度第2回)@ひらつか市民活動センター	1名
8月27日(水)	ボランティア活動支援施設 CEO ミーティング(オンライン)	2名
9月14日(月)	平塚市協働事業審査会 令和2年度事業中間ヒアリング@ひらつか市民活動センター	1名
9月25日(金)	NPOと行政の対話を促進するための連続講座第1回基礎編	2名
10月2日(金)	NPOと行政の対話を促進するための連続講座第2回実践編	2名
10月3日(土)	平塚市協働事業審査会 令和3年度実施提案型協働事業公開プレゼンテーション&審査会@ひらつか市民活動センター	1名
10月21日(水)	平塚市協働事業審査会 令和3年度実施提案型協働事業 事業化説明会@ひらつか市民活動センター	1名
11月10日(火)	平塚市市民活動推進委員会(令和2年度第3回)@ひらつか市民活動センター	1名
11月28日(土)	第6回府中市民協働まつり「市民協働シンポジウム・第1部基調講演チャリティーサンタ」@府中市民活動センター	3名
2月24日(水)	大和市市民活動推進補助金概要説明会 中止	1名
3月6日(土)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度大和市市民活動推進補助金公開プレゼンは中止となり応募資料と質問回答にて採点	1名
3月11日(木)	茅ヶ崎市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会(書面)	1名

エ. 若年層やシニア層をはじめ市民の市民活動への参画の促進

(ア)「ユースボランティア茅ヶ崎」

中学生から大学生くらいを対象にボランティアきっかけ作りのプログラム。2019年度まで16回連続で実施してきたが、共催の(社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会と協議の上、今年度はやむを得ず中止とした。

(イ)「若者ボランティア支援」

- ・高校生のボランティア活動を支援する拠点として、緊急事態宣言解除後、ボランティアの仲介をした。
- ・茅ヶ崎高校ボランティア同好会・茅ヶ崎西浜高校 JRC 部は、緊急事態宣言解除後、毎月1回受入れ。また、映像によるボランティア塾で撮影後にボランティアを希望した鶴嶺高校生にもイラスト作成の仲介を行った。

開催日	概要	参加者数
月 1 回	茅ヶ崎高校ボランティア同好会、茅ヶ崎西浜高校 JRC 部、部活動の一環としてボランティア受入： ボランティア塾 in 鶴嶺高校の DVD (ハチドリのひとしずく) により、ボランティアについて学びを提供 (茅ヶ崎高校:9/24,11/16,12/21,1/25,2/22,3/22) (茅ヶ崎西浜高校:9/9,10/23,11/27,1/8,2/26,3/19)	12 名
主催事業時	オンラインこどたん: 動画投稿のサンプル作品作り	3 件
随時	映像によるボランティア塾 in 鶴嶺高校撮影終了後、イラスト作成ボランティア 希望生徒に団体仲介	7 件 1 名

・若者向けボランティア・イベント・講座情報などを Twitter で広報した。サポセン事業、館内チラシ、SNS 情報などから、週 2 回ほどの投稿をめざした。

(ウ)「ボランティア塾 in 鶴嶺高校 2020」-「探究」授業向け映像(DVD)の制作・提供

ボランティア塾は、ボランティアに関する高校生の「知りたい!」と、市民活動団体の「伝えたい!」が出会い学ぶ合う「場」である。例年、鶴嶺高校 1 年生約 400 名を対象に「探究」の授業として、第一部は体育館での全体学習(40 分)、続く第二部では 15 程の市民活動団体が参加し生徒が希望した団体(塾)を選び体験する分科会(50 分)を実施している。

しかし、コロナ禍の今年度は、3 密回避のため、映像によるボランティア塾をめざした。参加 3 団体それぞれが制作した映像に、サポセンのプレイルームで撮影した団体代表のメッセージ映像(活動のきっかけや目的、これからについてなど)を加え、全体で 34 分の DVD 版にして学校に提供した。

映像では東日本大震災直後、被災地に笑顔と元気を届けた鶴嶺高校の先輩たちのエピソード/写真、さらには、参加団体で活動した先輩のメッセージなども紹介している。

本 DVD により高校生が、①「社会課題に気が付き、自主的に活動する人」の話を聞くことで、ボランティアや市民活動についての理解を深める、②活動の内容、活動の動機・目的、活動継続の要因、団体の思いに触れることで、社会課題を自分ごととして捉えられるようになる、③コロナ禍であっても、ボランティアや自身の進路についてじっくり考える機会となる、等々の効果を得られるものとする。

「ボランティア塾 in 鶴嶺高校 2020」DVD 概要	
○ボランティアとは～一人ひとりにできること～ ⇒ ハチドリのひとしずく ⇒ 東日本大震災後の被災地支援を行った先輩たちの活動紹介	
○団体紹介動画 ①理念・活動方針・事業内容、②先輩からのメッセージ、③代表からのメッセージ	
参加団体名	活動の分野
(1)海岸清掃団体湘南ウキブイ	環境の保全を図る活動
(2)サーフ 90 茅ヶ崎ライフセービングクラブ	地域安全活動
(3)NPO 法人 Ocean's Love	福祉の増進を図る活動
○まとめ	

(エ)学生インターン・ボランティアの受入

市民活動を担う若年層の育成のため学生ボランティアの受入れを実施(前項(イ)を除く)。

大船高校 1 年 1 名 (11/15,2/18,3/28)

(オ)生涯現役応援窓口との連携

令和2年度より、窓口がシルバー人材センターの運営事業となり、生きがい担当のセカンドライフコンシェルジュとは7月に情報交換を行った。また令和3年度4月から担当課が変更となることを受けて、3月に企画経営長寿社会推進担当職員とこれまでの連携取り組みについてふりかえりを行った。

(カ)市民活動交流カフェの実施

人が出合い、つながり、何かが生まれ、市民活動を始めるきっかけづくりや仲間づくりの場としての「市民活動交流カフェ」。東日本大震災から10年の節目に「こどたん2021」企画の中で「防災カフェ」を実施した。

開催日	概要	参加人数
5月15日(金)	【中止】ルワンダ活動報告会 講師:ルダシングワ真美さん(ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト代表)	-
3月13日(土)	防災カフェ(こどたん2021 ZOOM ライブイベントとして実施) ①被災地・福島より、かたりべおはなし会/湘南 SHOW 点	18名
	②防災ジュニアリーダー教室1/防災スイッチオン!プロジェクト	15名
3月14日(日)	③防災ジュニアリーダー教室2/防災スイッチオン!プロジェクト	17名

(4)様々な活動主体との連携に関する業務

ア. 地縁団体(自治会等)との連携に関する業務

(ア)市民自治推進課地域担当との情報交換会

今年度、情報交換会は実施しなかったが、主催事業についてまちちから協議会への情報提供をすることができた。

(イ)「イザ!カエルキャラバン!」実施の後方支援(連携に向けた事業実施)

2012年に茅ヶ崎で初めてサポートセンターの事業として開催後、市内の自治会・子ども会・推進協議会など地域の防災訓練として実施の後方支援をしてきたが、今年度は防災訓練が中止になり、後方支援や機材借用の申し込みが無かった。

イ. 様々な主体との(企業、大学、公益法人等)連携に関する業務

(ア)文教大学との定期連絡会

- ・文教大学湘南キャンパス国際学部ボランティア委員会とEメールやオンライン会議(9/25)にて情報交換した。
- ・「特殊講義G サービスラーニング」授業への協力では、昨年に引き続き学生の受入先となる団体を紹介した。後期授業開始時には(認定特非)NPOサポートちがさき代表理事が「大学生の地域での活動」をテーマに特殊講義を実施(9/30)。サポセンでは3名の学生を受け入れ、サポセンでのレクチャー、Zoomによる打ち合わせを通して、「こどたん2021」ライブイベントの運営ボランティア活動をサポートした。(10/30、11/20、12/4、1/16、1/29、3/12)
- ・文教大学フォーラム「コロナ禍における市民活動と大学生の関りの可能性」(3/18)開催にあたっては、ゲスト講師(湘南SHOW点)の依頼仲介、オンラインでの参加、サービスラーニング受講学生の活動コメントなど行った。

(イ)「ボランティア大学講座」への協力

講座が中止となった。

(ウ)「ちがさき健康づくり講座」への協力

講座が中止となった。

(エ)研修受入れ

神奈川県職員のNPO活動体験派遣研修は実施がなかった。

(5) 市民活動を推進する市の施策等の充実に係る業務

ア. 「協働」カフェの実施(協働推進事業の周知啓発)

茅ヶ崎市の「協働推進事業」が令和2年度より制度見直しとなったため、関連事業を実施できなかった。

イ. 「市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会」の実施

茅ヶ崎市の「協働推進事業」が令和2年度より制度見直しとなったため、関連事業を実施できなかった。

ウ. 協働推進事業の実施、提案等を行う団体の支援

茅ヶ崎市の「協働推進事業」が令和2年度より制度見直しとなったため、関連事業を実施できなかった。

エ. 市民活動げんき基金補助事業の実施、提案等を行う団体の支援

- ・令和2年度事業の実施団体に対しては、市民自治推進課と連携し、新型コロナ禍での実施を支援した。事業内容の変更や中止した団体もあったが、事業を実施した団体に対しては、報告書作成にあたってのアドバイスも行った。
- ・令和3年度実施事業への申請希望団体に対しては、市民自治推進課による制度説明会の後、個別に「企画書作成会」を実施し、補助金の活用方法や事業内容について相談を受けた。またメール等を通して申請書の書き方や予算の立て方等アドバイスを行った。

開催日	概要	参加団体
12月14日(月)、 17日(木)、18日 (金)	令和2年度実施市民活動げんき基金補助事業 伝わる！企画書作成会 市民活動げんき基金の仕組み、事業企画の立て方、企画書・申請書類の書き方を中心に、公開プレゼンテーションの進め方などを説明。 場所:ちがさき市民活動サポートセンター	5団体
2月9日(火)、16 日(火)、3/16日 (火)、18日(木)、 29日(月)	令和元年度実施市民活動げんき基金補助事業 報告書作成会 事業の実施報告書内容の書き方アドバイスや収支決算書の確認。 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎4階	10団体

- ・制度に対する理解を深め、よりの確な支援を行うため、市が主催する下記のイベントに積極的に参加した。

開催日	概要
12月10日(木)	令和3年度実施 市民活動げんき基金補助事業制度説明会(オンライン)
3月20日(土)	令和3年度実施 市民活動げんき基金補助事業 公開ヒアリング/プレゼンテーション (オンライン/茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室)

オ. げんき基金の周知啓発に関する業務、増額を図るための取り組み

- げんき基金補助事業実施団体については、ニューズレターやホームページ、広報ちがさき「市民の活動だより」などで積極的に紹介。
- げんき基金の募金箱を設置し、センターで収穫したラベンダーや利用者、NPO や企業から寄贈を受けた消耗品や事務用品などの提供品を返礼品とした。(大塚商会/たのくんからの贈り物などを活用)

カ. 市職員への研修講座の実施、研修受入

新採用職員研修講座については、昨年まで実施してきた形式(サポセンにてレクチャーとワークショップ約 3 時間)とは異なり、市民自治推進課職員とともに市役所会議室にて実施した(50 分)。NPO 派遣研修は実施がなかった。

実施日	内容	参加者	人数
11 月 5 日(木)	新採用職員研修講座 「行政とNPOとの協働」	茅ヶ崎市職員	50 名

キ. 茅ヶ崎市市民活動推進委員会

令和元年 6 月 13 日から 2 年間の任期で委嘱を受け、センター長が委員として出席した。

第 1 回:9/16 (水)、第 2 回:11/2 (月)、第 3 回:12/7(月)、第 4 回:2/2(月)、第 5 回:3/20(土)

(6) 市民活動の状況把握に関する業務

ア. 市民活動に関する情報収集及び提供に関する業務

(ア) 市民活動に関する図書を選定、購入及び管理

図書コーナー(本棚)脇の「新着図書紹介・雑誌コーナー」を運営した。令和2年度新規購入図書:『SDGs×自治体実践ガイドブック』高木超著ほか16冊。定期購入雑誌:『ソトコト』(木鐸社)、『ガバナンス』(ぎょうせい)、『ウォロ』(大阪ボランティア協会)、『ビックイシュー』(ビックイシュージャパン)

(イ) 市民活動団体、関係機関が発行する機関誌、市民活動に関する関係資料等の収集及び管理

利用者が団体を知る資料として、主に登録団体の機関紙やイベントチラシなどをファイルした「市民活動団体メモリーファイル」を分野別に掲示した。資料が少ない団体は、個別メモリーファイルは作らずに、分野ごとの「まとめファイル」で把握しやすいよう整理した。また関係資料についても閲覧できるようにカテゴリごとに整理して掲示した。

イ. 市民活動の状況調査に関する業務

(ア) 市民活動支援関係機関へのヒアリング調査・提言作成

ヒアリング調査は実施しなかった。

(イ) 市民活動団体への活動状況調査及び分析

新型コロナウイルスの影響下で、市民活動団体がおかれている現状と課題を把握し、今後のサポセン運営や市民活動の支援・推進事業に反映させること、また、結果を共有することで新たな時代の市民活動のあり方や連携・協働の可能性について、市民活動団体同士が共に考えるきっかけになることを願い、ガイドブック掲載団体へ Google フォーム及び紙面で「新型コロナの影響と今後の市民活動に関するアンケート」を実施。結果をまとめたものを団体に送付した。

調査対象:ちがさき市民活動ガイドブック掲載団体 (344 団体)

実施時期:2020 年 5 月 31 日~6 月 20 日

回収率：210 団体/344 団体（62%）

分析：感染症対策をとりながらの活動が難しいとしながらも、今後も自分たちのできることを続ける、自立した団体が多かった。オンラインでの会議やイベント開催など、IT 支援のニーズが多くあった。

(ウ)「利用者懇談会」の実施

参加団体からは、不要不急の外出自粛の中での活動状況について相互に情報交換を行った。サポセンからは緊急事態宣言後の利用ルールや団体の活用状況などを報告。

10 月 30 日（金） 10:00～11:30 参加 7 団体 11 名（スタッフ含む）対面および Zoom にて実施

(7) 危機管理に関する業務

ア. 防火管理、防災管理、建物管理

防火管理、防災管理、建物管理などについて以下の内容を実施した。

実施日	内容	備考
4 月 1 日（水）	防災管理チェック表 2020 版作成	
5 月 25 日（月）	エアコン保守点検（豊美空調設備）	
6 月 30 日（火）	建物附属設備自主検査チェック	
7 月 2 日（木）	消防用設備等定期自主検査チェック	
7 月 22 日（水）	消防用設備点検（平和防災）、自動ドア保守点検（昭和ドア）	
7 月 28 日（火）	消防計画見直し確認	
7 月 30 日（木）	危機発生時対応マニュアル改訂	
8 月 6 日（木）	浸水ハザードマップ調査、止水板調査	
8 月 12 日（水）	茅ヶ崎市地区防災計画風水害計画調査	
8 月 24 日（月）	臨時休館日チェックリスト追加修正	
8 月 31 日（月）	非常警報設備の非常用バッテリー交換（平和防災）	
9 月 23 日（水）	MCA 無線機器点検	
10 月 2 日（金）	消防訓練内容確認及び実施計画書作成	
10 月 4 日（日）	建物附属設備自主検査チェック	
10 月 8 日（木）	マイタイムライン作成	
10 月 21 日（水）	エアコン保守点検（豊美空調設備）	
11 月 1 日（日）	訓練実施計画書作成	
11 月 9 日（月）	消防用設備等定期自主検査チェック	
11 月 17 日（火）	訓練実施計画書提出、水消火器 2 本借用（予防課）	
11 月 18 日（水）	消防総合訓練実施	参加 10 名
11 月 22 日（日）	訓練実施結果報告書作成	
12 月 8 日（火）	訓練実施結果報告書提出	
11 月 25 日（金）	自動ドア保守点検（昭和ドア）	
1 月 22 日（金）	消防用設備点検実施（平和防災）	
3 月 12 日（金）	2021 年度緊急連絡網検討	

イ. 新型コロナウイルス感染症拡大防止関係

(ア) 感染予防・対策マニュアル

新型コロナウイルス感染拡大防止のため 4 月 4 日(土)から～6 月 30 日(火)までの臨時休館期間は、開館時(7 月 1 日)に向けて、厚生労働省、報道(テレビ、新聞、Web)、関係学会資料などから情報の収集・整理を行い、サポートセンター館内利用時の「新型コロナウイルスの感染予防・対策マニュアル」を作成した。その後、最新情報をもとに、都度、マニュアルの改定を行った。また、夏期同様、厚生労働省、報道(テレビ、新聞、Web)、関係学会資料などから情報の収集・整理を行い、気温・湿度が低下する冬期の感染予防・対策マニュアルを作成した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として以下を行った。

実施日	内容
4 月 4 日(土)～ 6 月 30 日(火)	・サポセン内の「新型コロナウイルス感染感染予防・対策マニュアル」作成のための情報収集・整理・試作
6 月 23 日(火)	・新型コロナウイルスの感染予防・対策マニュアル(初稿) ・サポセン感染拡大防止対策_消毒作業(定期_都度)_換気マニュアル(初稿)
7 月 1 日(水)～	・「新たな利用ルール」(事前予約・手指アルコール消毒・マスク着用・施設利用チェック(健康確認)シート記入・共有部分のアルコール消毒など)のもと通常時間帯で開館
8 月 9 日(日)	・アルコール消毒のやりかたー居室・トイレ(初稿)
8 月 29 日(土)	・「神奈川県感染防止対策取組書」に登録
9 月 1 日(火)	・サポセン イベント等チェックリスト(改定)
9 月 25 日(金)	・新型コロナウイルス感染予防・対策マニュアル(改定) ・サポセン感染拡大防止チェックリスト(職員啓発用)(改定)
11 月 9 日(月)	・サポセン新型コロナウイルス感染防止対策ー「夏期・冬期の室内の換気方法」(初稿)
1 月 5 日(火)	・フリースペース(小)に二酸化炭素濃度モニター設置
1 月 7 日(木)	・サポセン新型コロナウイルス感染防止対策ー「夏期・冬期の室内の換気方法」(改定)
1 月 14 日(木)	・換気マニュアル「換気の日安 二酸化炭素濃度」(初稿)
2 月 4 日(木)	・足踏み式アルコール消毒液ディスペンサーの製作・設置

マニュアル例 (新型コロナウイルスの感染予防・対策マニュアル)

1. 新型コロナウイルス(SARS-CoV2)の正しい理解

2. 基本的な感染予防対策

- 1)利用者・職員・施設の基本的感染予防対策、2)職員・施設のおもな感染防止対策 (1)職員のおもな感染防止策、(2)施設のおもな感染防止策、3)換気の基礎知識 (1)換気、(2)換気の方法、4)消毒液の基礎知識 (1)次亜塩素酸水(モーリス)、エタノールのちがい、(2)アルコール消毒液の代替品、およびその効果、(3)家庭用消毒液(漂白剤)の応用、5)使用機器・物品の消毒方法

3. 二次感染防止のための施策

- 1)症状を疑う時、感染が疑われる場合、濃厚接触者となった場合の対応、2)マニュアル類の整備および職員の啓発、3)感染症とリスクコミュニケーション、4)「感染防止対策取組書(神奈川県)」の取得・掲示

4. 予防対策

- 1)新型コロナウイルス感染症の予防対策ー手洗いの徹底、2)新型コロナウイルス感染症の予防対策ーアルコールによる手指消毒、3)新型コロナウイルス感染症の予防対策ー咳エチケット、4)新型コロナウイルス感染症の予防対策ーマスクの着脱方法、5)ディスポ手袋の着脱手順、6)正しい検温の方法、7)職場の新型コロナウイルス感染症拡大防止チェックリスト(職員用)、8)職員のための感染回避行動、フローチャート、9)イベント等開催時の「感染防止対策チェックリスト」

(イ) 日常運営管理

①館内利用者の健康チェック

- ・入館時・退館時・トイレ利用後の手指アルコール消毒、施設利用チェック(健康確認)シートの記録・保存

②館内の消毒作業

- ・定期消毒(開館前)

机、イス、ホワイトボード、パーティション、スイッチ類、コンセント、棚類、取手などのアルコール消毒

- ・都度消毒(機器・備品の利用後)

机、イス、スイッチ類、コンセント、棚類、PC 類・印刷機などの OA 機器類、文房具、コイントレイなどのアルコール消毒

③窓、換気扇(11カ所)、温湿度計、二酸化炭素濃度モニター

- ・午前、午後、夜間に各1回以上、館内見回り時に確認

(8) 施設等の維持管理に関する業務

- ・建物付属設備については定期保守点検を行い、故障・不具合があった場合は速やかに修繕を行った。

(給湯器水道蛇口、入り口看板、玄関表札、駐輪場前灯具、フリースペース網戸)

- ・四半期ごとに指定管理業務実地調査が行われ、おおむね優良であることが確認された。

- ・開館以来使用してきたフリースペースのいすとテーブルの一部を更新。廃棄物を適切に処理した。

- ・フリースペース小を、大型モニターも設置し、オンライン会議などができるように配置した。

- ・花壇と施設まわりの手入れに関しては、一年を通してサポセンボランティア「さくら草の会」の協力を得ている。

植栽デザインから土づくり、植付、適切な施肥と除草により、四季折々の草花が道行く人々の目を楽しませ、サポセンの顔として好評を得ている。今年度も募金 29,031 円を「げんき基金」に寄付した。

(9) 経営管理に関する業務

年間事業報告書を作成した他、毎月、利用統計表、業務報告書、事業スケジュールの進捗状況一覧、利用者の声・問合せ・相談内容一覧を作成し、市民自治推進課に報告した。月初めに館内の利用状況をグラフにして掲示した。

(10) その他の業務

ア. 視察対応に関する業務

他市、関連機関からの視察に対して施設内外の案内及び説明を行った。

実施日	内容	視察者	人数
9月24日(木)	サポセン館内案内	鎌倉市民活動センター	3名
3月11日(木)	サポセン館内案内	茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆず	2名

イ. 環境への配慮

- ・市民立太陽光発電所(れんこちゃん1号)については、NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワークより定期的に使用電気量の報告を受け取った。今年度は、自家消費分等に当たる154,470円を同法人に支払った。

- ・「ちがさき市民活動サポートセンターは太陽光発電システムと蓄電池が設置されている環境にやさしい施設です」という表示パネルがちがさきRENによって花壇掲示板付近に設置された。

ウ. ふれジョブ活動の受入

支援の必要な子どもが職場体験をすることで自ら学ぶとともに、みなが共に助け合うことのできる社会を

創る活動として、随時、学齢期の子どもの活動を受け入れた。受入れにあたっては「ふれジョブちがさき・さむかわ」の代表と密に打合せを行い、終了後にはふりかえりを行った。

実施日時	所属 学年	人数
10/22、29、11/11、25、12/9、23、3/24、31 16:15～17:15	茅ヶ崎市中学 3 年生男子	1 名

エ. 企業の社会貢献活動の仲介

2013 年度より毎年クリスマスの時期に、明治ホールディングス(株)及び同社株主より、社会貢献活動の一環として明治グループの製品(お菓子)の寄贈の申し出があり、障がいのある子どもを対象にした活動や東日本大震災の影響を受けている子どもたちの支援をしている団体への寄贈を仲介している。今年度は、コロナ禍でも活動を継続している3団体(NPO 法人ワーコレたんぽぽひろば、NPO 法人発達サポートネットバオバブの樹、ダウン症と兄弟児・ファミリーのためのサークルtomboy)他の子どもたちとも分かち合った。

オ. 自主事業の実施

今年度は実施しなかった。

茅ヶ崎市民活動サポートセンターの指定管理者(4期目)となり、センターの管理運営と合わせて、以下記載のとおり法人の様々な事業を展開した。

2. コミュニティ形成を支援する事業

(1) まちスポ×さぼちが連携事業

NPO 法人まちづくりスポット茅ヶ崎(以下、「まちスポ」という。)と、当法人(さぼちが)からなる会議体「まちスポ×さぼちが連携会議」は開催できなかった。

(2) おでかけ支援

令和2年度神奈川県共生社会仕組みづくり外出支援モデル事業の2年目として、湘南地区まちぢから協議会の動向をみながら、まちづくりスポット茅ヶ崎と連携して必要な支援を行った。

・国土交通省認定認定ドライバー研修の企画・運営、添乗者及び運行管理者等の担い手研修の企画運営
かながわ福祉移動サービスネットワークに講師依頼・日程調整、

告知ちらし案作成、当日運営・アンケート集計

安全運転講習(運転者ブラッシュアップ):9月2日(水)参加者3名

国土交通大臣認定ドライバー研修(運転者人材発掘・育成):12月20日(日)参加者13名

菊名おでかけバス視察(運転者・添乗者・運行管理者対象):2021年2月2日(火)参加者8名

・車両借用の仲介(週1日)社会福祉法人翔の会の福祉車両借用の仲介・「車両提供に関する覚書案」作成

・組織運営:準備会(毎月第2月曜日)・実行委員会(毎月第3土曜日)に出席

・運行記録:おでかけワゴン利用実態を記録するために伴走して写真撮影(7月~1月合計15日)

運行状況

定期運行:毎週火曜日①9:15~13:00 4便(ベルパーク前⇒BRANCH2 茅ヶ崎)往路

4月7日、7月14日~12月22日、1月12日~運行

マンション便:買い物不便地区グランバーグ(柳島)&エクシード(今宿) ⇄ BRANCH2 茅ヶ崎 直通 往復路

8月26日(土)試行、10月より月2回運行

(3) コミュニティ・コンシェルジュ

今年度は実施しなかった。

(4) 余暇支援ネットワーク

「キラキラちゃんぶる音楽祭」は、新型コロナウイルス感染の蔓延防止のため中止となった。

3. 協働によるまちづくり推進事業

(1) 企業とNPOのマッチング

今年度は実施しなかった。

(2) 食から未来へ勉強会

高い知見を有した外部協力者を講師として勉強会を開催してきたが、コロナ禍で活動を自粛した。

ただし RIVENDEL の企画事業に有志で参加した。

第1回勉強会 くらしの教室《はじめての漢方》

日 時:8月23日(日)13:00~14:30

場 所:RIVENDEL 茅ヶ崎市矢畑 183

講 師:末次真緒さん

参加者:4名

第2回勉強会 《旬をたのしみ、秋を楽しむ》リベンデル芋煮会

日 時:11月8日(日)11:00~15:00

場 所:RIVENDEL 茅ヶ崎市矢畑 183

参加者:3名

(3)地域コミュニティ勉強会

内 容 伊藤隆さんを囲み、コーディネーターに中川久美子さんをお迎えして、中間支援のあり方と新型コロナウイルスがあぶりだしたことや対応について考える。

日 時 7月4日(日)

場 所 茅ヶ崎地区コミュニティセンター大会議室

(4)農福商等連携・ネットワーク事業

今年度は実施しなかった。

4. 市民活動に関する調査研究事業

今年度は実施しなかった。

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

今年度は実施しなかった。

6. 行政・他機関への委員会委嘱等の協力 [事務局]

派遣等

茅ヶ崎市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会 (年1回)
茅ヶ崎市行政改革推進委員会 (年2回)
社会福祉法人翔の会理事会 (年5回)
社会福祉法人翔の会運営会議 (年1回)
茅ヶ崎市民活動推進委員会 (年5回)
茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会(2回)
茅ヶ崎市生活支援体制整備事業 第1層協議体 (年1回)
大和市市民活動推進補助金事業アドバイザー (年2回)

他セクター等との連携等

茅ヶ崎商工会議所 Web 新春賀詞交歓会 1月8日(金)
公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 新年式典 Youtube 配信 1月18日(月)

後援・協賛等

今年度はなし。

その他

(1)会員向け情報紙「ハーモニー」の発行

7月、10月、3月(3回発行) 特別号12月発行

会員やサポートセンターの職員からの寄稿により親睦を深めることができた。また、“さぼちが”の定期総会や自主事業を報告し、情報共有を図った。また特別号で茅ヶ崎市民活動サポートセンター指定管理者に指定されたことを速報した。

(2)仲間づくり部活動@RIVENDEL・全体会

コミュニティ農園「RIVENDEL」を利用し、ごはん会を開催して参加者相互の親睦を深めてきたが今年度はコロナウイルス感染予防対策のため活動できなかった。

全体会 Zoom 及び茅ヶ崎市民活動サポートセンターにて

3月21日(日) さぼちが創立20周年について

(3)情報発信・HP更新

ホームページに法人の基本データの公開、毎年度の事業報告、会計報告、貸借対照表の掲載。
法人基本情報の更新をした。

法人運営

1. 通常総会 2020年度定期総会

日時: 令和2年(2020年)5月20日(水) 14:00~14:40

会場: ZOOMによるオンライン会議

出席者数: 出席10名、委任状15名、書面議決書6名 合計31名(正会員総数44名、過半数が出席)

議事: 第1号議案 令和元年度(2019年度)事業報告の承認

第2号議案 令和元年度(2019年度)収支決算の承認

第3号議案 令和2年度(2020年度)活動計画の基本方針及び事業計画の審議・決定

第4号議案 令和2年度(2020年度)収支予算の審議・決定

第5号議案 役員を選任

全ての議案は原案通り、全会一致で可決承認された。

2. 臨時総会

日時: 令和2年(2020年)8月19日(水) 16:00~17:00

会場: 茅ヶ崎市民会館(茅ヶ崎市新栄町13-32)

出席者数: 15名 委任状15名 合計30名(正会員総数45名、過半数が出席)

議事: 第1号議案 茅ヶ崎市民活動サポートセンター指定管理者応募について

第2号議案 定款変更について

全ての議案は原案通り、全会一致で可決承認された。

3. 理事会

- 4月16日(水) 総会の開催方法及び新型コロナウイルスによる休業補償等について
- 5月6日(水) 2019年度決算及び2020年度事業計画、予算書について
- 5月20日(水) 代表理事及び常務理事の互選について
- 7月9日(木) コロナ関連の協力金・給付金等について
- 8月5日(木) 茅ヶ崎市民活動サポートセンター指定管理者応募について
- 9月10日(木) 茅ヶ崎市民活動サポートセンター施設指定管理者応募書類について
- 11月11日(水) 市民活動IT支援に関する業務委託契約について
- 2月3日(水) カラー印刷機の導入について
- 3月3日(水) 2020年度事業報告会計報告、2021年度事業計画について

4. 運営会議

コロナ禍のため毎月の開催を見合わせた。ただし月ごとに「茅ヶ崎市民活動サポートセンター業務報告書」で情報共有を図った。

12月9日(水) 12月運営会議

1月13日(水) 1月運営会議

以上